

毎週土曜日 14時40分～16時10分 全14回（半期講座）

日程・教室

9月28日～1月25日（休講日11/23、12/21、12/28、1/4）

孔子学院図書室

テキスト

『中国語さらなる一歩』

竹島金吾 監修、尹景春、竹島毅 著 白水社（本体2,200円+税）

ISBN:978-4-560-06905-9

講座概要

この授業では前期に引き続きテキスト7～12課を中心に、下の「予定」に示した内容、すなわち「副詞」「方向補語」「可能補語」「結果補語」「受身」「介詞」などなどの文法事項を系統的に学びます。必要に応じて入門・初級レベルの復習もしたり、また時には中級以上の内容も覗きながら進みます。質問にも丁寧に答えします。しかし文法だけの単調な授業ではありません。「課文」（＝本文）は下のとおり「映画」「買い物」「食事」「趣味」など、身近なところで生かせる内容ばかりです。これらの「課文」や文法で学んだことを実践でも使えるように、リスニングや会話練習もたっぷり取り入れます。文法をじっくり学びたい方、会話を楽しみたい方、学ぶ仲間と出会いたい方、とりあえず準中級レベルのクラスをお探しの方、ぜひこのクラスと一緒に勉強しましょう。

講師紹介



永井英美（ながい・ひでみ）先生

YONGJING YINGMEI

神戸大学大学院文学研究科修士課程修了。文学修士。1993年～94年杭州市浙江大学に留学。専門は中国現代文学。近畿大学、大谷大学、佛教大学中国語非常勤講師。立命館孔子学院では2007年から弱点克服講座（文法、リスニング）、時事中国語クラス、初級クラス、中級クラス、読書会などを担当。

講師からのメッセージ

週一度、年齢も職業もさまざま、初心者もいればベテランもいる、そんな男女数名が、縁あって一つの教室に集り中国語を学ぶ。毎学期、講師の私自身がそんな出会いをととても楽しんでいます。文法、音読、リスニング、暗唱、そして応用中国語会話。ときにはリラックスタイムを設けて音楽を聴いたり、DVDで中国の町を紹介したり。楽しく笑って、でも真剣に学んでいるうちに90分の授業があつという間。1つの学期が終わる頃にはみなさん確実に力が上がっています。自信のある方、ない方、学習歴の短い方、長い方、どなたも大歓迎です。目標とやりがいのある時間をいっしょに過ごしませんか。

授業予定内容

1)	9月28日	自己紹介、授業の進め方などについて説明、第7課文法「状態の持続」「副詞」「部分否定」、課文「中国映画を見よう」、会話練習
2)	10月5日	第7課課文のリスニング練習、文法の練習問題、会話練習
3)	10月12日	第7課課文の暗唱、第8課文法「方向補語」「使役」「疑問詞の不定用法」、課文「シルクを買おう」、会話練習
4)	10月19日	第8課課文のリスニング練習、文法の練習問題、会話練習
5)	10月26日	第8課課文の暗唱、第9課文法「可能補語」「強調表現」、課文「中華を食べよう」、会話練習
6)	11月2日	第9課課文のリスニング練習、文法の練習問題、会話練習
7)	11月9日	第9課課文の暗唱、第10課文法「介詞」「助動詞」「～了～了」、課文「太極拳を習おう」、会話練習
8)	11月16日	第10課課文のリスニング練習、文法の練習問題、会話練習
9)	11月30日	第10課課文の暗唱、第11課文法「結果補語」「受身」、第11課課文「水滸伝を楽しもう」、会話練習
10)	12月7日	第11課課文のリスニング練習、文法の練習問題、会話練習
11)	12月14日	第11課課文の暗唱、第12課文法「副詞」「介詞」、課文「春節を過ごそう」、会話練習
12)	1月11日	第12課課文のリスニング練習、文法の練習問題、会話練習
13)	1月18日	第12課課文の暗唱、p58「手紙を書こう」、会話練習
14)	1月25日	p59「中国朋友と話そう」、および実践中国語会話、

※予定の内容・進度は実情に合わせて変更する場合がございます。